



ネイチャー通信 センター

春の雷

ミズバショウやエゾエンゴサクなど、春の花が咲く4月下旬、春国岱の草原から「ズビャク、ズビャク」と大きな声が聞こえてくるようになります。空を見上げるとクチバシがとてつ長いハトぐらいの大きさの鳥が、鳴きながら急降下と急上昇を繰り返す姿が見られます。

春に現れて派手なディスプレイ飛行を見せるこの鳥はオオジシギといい、オーストラリアやタスマニアから数千キロの道のりを渡って来ます。春から夏にかけて根室では普通に見られる鳥ですが、分布はとてつ限られており、日本（特に北海道）が主な繁殖地になっています。

オオジシギはディスプレイ飛行の際、「ズビャク」と数回鳴いた後、尾羽を広げて「ザザザ」という音を立てながら急降下をするため「雷シギ」という別名を持っています。日の出前や日の入り直後などによく行うため"うるさい"鳥という印象もあるようですが、繁殖期を迎えたオオジシギにとってなわばりを張ったり、メスと親交を深めたりするのに、この行動はとてつ大切です。いつも同じパターンでディスプレイ飛行を行っているように見えますが、鳴き

声や急降下の程度、飛ぶルートなどの組み合わせを変えて、さまざまな主張をしているそうです。オオジシギのオスは、春国岱にやってくると、勾配が緩やかで、草丈が30～40cm位ある繁殖に適した草原になわばりを張り、メスを迎えます。

ユニークな飛行を見せてくれるオオジシギは、準絶滅危惧種に指定されている希少な野鳥です。春を知らせる小さな雷シギが根室に安心して渡ってくるには、一見何の役にも立っていないような草原がとてつ重要な価値を持っています。

レンジャー 手嶋 洋子



オオジシギ

広告募集

**広報ねむろ
根室市ホームページ**

料金など詳しくは、担当までお問い合わせください。
市役所 TEL (23) 6111番

広報 総務課広報広聴担当 内線2213

ホームページ 情報管理課情報管理担当 内線2340

根室市の人口

平成25年3月1日現在 () 前年同月比

人口 **28,672** 人 (-415)

男 **13,774** 人 (-195)

女 **14,898** 人 (-220)

世帯数 **12,875** 世帯 (-91)
※外国人を除く

広報ねむろ 2013 4月号 No.876
発行 根室市役所総務課
印刷 根室印刷株式会社

編集後記
ねむろ **アングル**

■この度、新規採用で広報担当となりました。不慣れな点はあると思いますが、女性初の広報担当ということで、新たな視点で盛り上げていきたいと思っております。(S)

今月の一枚 近藤 憲久 学芸主査 「学芸員講演会」 2月22日

30年間の学芸員生活の集大成を発表。講演後、定員を大幅に超える会場から鳴りやまない拍手が送られる。

昭和58年より始まった「学芸員日誌」を当初から支えてくださった近藤学芸主査。新たな研究の地の大空町でも頑張ってください。

30年間ありがとうございました。